

第2次郡上市総合計画

後期基本計画の実施に向けて（第6回）

みんなで考え、みんなで作る郡上
～ずっと郡上 もっと郡上～

高鷲地域の主な取組み

自然と共存した文化の継承と 安定した生活を送れる地域づくりを進めます
～開拓の心を伝える長良川源流の里「たかす」～

【基本目標6】

●自然環境の保全と開拓精神の継承

取組みの必要性 ⇒ 長良川源流域に生息するギフチョウの乱獲やミズバショウが群生する湿地帯の縮小が問題となっており、豊かな自然を後世に継承する必要があります。また、高齢化で語り部が減少する中、戦後の開拓精神と歴史を若い世代に継承していく取組みが必要です。

貴重な湿原を保護する知識を持つ人材の育成と「たかす開拓記念館」の活用推進

積極的な外来種駆除により貴重な湿地帯と生態系を守るとともに、湿原や高山植物を保護するための知識を持つ人材の育成を支援します。また、戦後の開拓による先人の努力で、今日の賑わいを見せるまでに至った開拓の精神や歴史文化を若い世代に継承し、ふるさとへの誇りを高めるため「たかす開拓記念館」の活用を進めます。

●産業振興による地域の活性化

取組みの必要性 ⇒ 冬季に集中する集客を年間を通したものにするためのプランの作成や、雇用を受け入れるための体制づくりを官民一体となって取り組むことが必要です。

一年中訪れたくなる高鷲の魅力を発信

夏季のスキー場活用や、豊かな自然と農業・文化を組み合わせた滞在型・体験型プランや周遊モデルコースを考案し発信することで、年間を通した集客を目指します。また、空き家の改修等を支援し、雇用促進に向けた体制を整備します。



「たかす開拓記念館」の様子

美並地域の主な取組み

魅力的なコミュニティの形成による住みつけたい地域づくりを目指します
～円空のふるさと美並～

【基本目標6】

●地域資源の活用と交流による産業振興

取組みの必要性 ⇒ 農業従事者の減少や耕作放棄地の増加が進む中、安定した農業経営を図る必要があります。また、地域内には商店が少なく買い物支援が必要となっています。

都市部との交流推進と企業誘致による農商工業の活性化

地元農産物を活用した新商品開発や観光農園等での収穫体験による都市部住民との交流に取り組めます。また、商店の継続・創業支援や企業誘致の推進による商工業の活性化を図ります。

●地域の魅力の効果的な発信による観光振興

取組みの必要性 ⇒ 「まん真ん中広場」の人工芝化やクラブハウスの整備により交流人口の拡大が期待されています。一方で「円空」や「日本林業遺産」の魅力を情報発信していく取組みが必要です。

新たな魅力発信による観光産業の活性化

大会・合宿誘致とスポーツツーリズムを通じた交流人口の拡大を図ります。また、各施設の連携による滞在プランを作成し、新たな地域の魅力を発信します。



まん真ん中広場での活動の様子

10年間のまちづくりの指針となる第2次郡上市総合計画（平成28年度～令和7年度）の後期基本計画（令和3年度～令和7年度）の内容を市民のみなさんに知っていただくため、各部署の取組みをシリーズで紹介します。最終回の第6回目は高鷲・美並・明宝・和良地域の取組みです。

明宝地域の主な取組み

住民主体による手づくり自治と 産業の創出を目指します
～アフターコロナ社会とデジタル化に対応したハンドメイドの里「めいほう」～ 【基本目標6】

●地域活性化の拠点づくりによる産業・雇用の創出と経済の好循環の確立

取組みの必要性 ⇒ 国道472号（通称：せせらぎ街道）の通行量は、東海北陸自動車道の全線開通や近年の新型コロナウイルス感染症の影響から大幅に減少しています。このため、明宝の玄関口であり産業の拠点となる「道の駅明宝」の再構築が求められています。

「道の駅明宝」を拠点とした観光戦略

モバイルアンケートにより来訪者の動向を把握・分析するとともに、四季折々のマルシェを開催するなど、道の駅の魅力向上やアフターコロナに対応するための新たな戦略を推進します。また、新商品開発による地場産品率を高め、地域内経済の好循環化を図ります。



「道の駅明宝」
花マルシェの様子

●地域資源の有効活用と社会基盤の変化に対応した地域づくり

取組みの必要性 ⇒ これまで農地や山林などの保全活動や地域づくり活動が盛んに行われてきましたが、人口減少、少子高齢化に伴う担い手不足により、活動の衰退が懸念されています。

持続可能な地域の基盤づくり

豊富な水資源による小水力発電を推進し、売電収益による里山保全活動の活性化を図ります。また、モバイルアプリケーションを活用した情報の共有による自治会運営の円滑化を目指します。

和良地域の主な取組み

地域資源を活用した産業振興を図り いつまでも安心して暮らしていける地域づくりを進めます
～緑豊かな清流の里 和良～ 【基本目標6】

●地域の資源を活かした魅力ある地域づくり

取組みの必要性 ⇒ 少子高齢化等により地域活動を担う若者が減っているため、若い世代も住みたいと思う魅力ある地域づくりに取り組む必要があります。

「道の駅和良」を拠点とした産業振興

和良川の恵みである「和良鮎」、「和良蛸」、地元で作った農作物などの地域資源を地域の経済活動に結びつけ、道の駅和良を活用して産業振興を図ります。

●笑顔があふれる住みよい地域づくり

取組みの必要性 ⇒ 地域の医療福祉体制の縮小や災害時の防災力低下などによる住民の不安を解消するため、地域の人の手で地域を守っていく取組みを強化していく必要があります。

「まめなかな和良21プラン」推進と地域防災力の強化

和良独自の健康増進計画である「まめなかな和良21プラン」を推進し、健康づくりの意識を高めます。また、自治会を中心とした自主防災活動の活性化を図ります。



道の駅の先進地視察の様子

問い合わせ先 市長公室企画課 ☎67-1831